

つながる力 ～人生の最終段階にある人を支える仲間づくり～
「ホスピスでの取り組み」

公立みつぎ総合病院 臂 美穂

〈講義内容〉

緩和ケア病棟に配属となって約10年が経過しました。配属当初は本当に何も分からず、不安な毎日でしたが、患者さんや他職種から教えていただいたことが、自分の力になり、やってこられたという気がします。

ホスピスに入院される患者さんの大半は、そのかたにとってのいい時間が限られていて、いつかはお亡くなりになります。患者さんやご家族の様々な要望をかなえようとする、OTだけでは難しく、多職種の協力が必要です。

今回ホスピスでチームの一員として、OTがどう関わったかをお伝えします。今後の皆さんの臨床のヒントになれば幸いです。

〈略歴〉

H3 愛媛十全医療学院卒業

同年4月 公立みつぎ総合病院入職

急性期・回復期・療養棟のリハ、老健、特養、デイケア、デイサービス、訪問看護ステーションからの訪問リハの各部署にて勤務

現在、一般病棟と緩和ケア病棟の緩和的リハを中心に担当し、10年経過

職業：作業療法士

介護支援専門員

書籍：

緩和ケアを主体となる時期のがんのリハビリテーション：中山書店

緩和ケア病棟で働くOTの役割と課題（特集 緩和ケア病棟で求められるOTの役割と活動）：OTジャーナル

地域医療を支える～緩和ケア病棟のリハビリテーションを通して～：全国自治体病院協会誌

ホスピス緩和ケア白書：ホスピス緩和ケアを支える専門職・サポーター 作業療法士（分担執筆）